

4. 実用化開発支援事業の全体像

- 主に中堅・中小・ベンチャー企業を対象に、概ね事業終了後3年での実用化を目指す段階での研究開発を支援。対象分野・要件は、各事業の特徴に合わせて設定。

実用化開発支援

- 橋渡し研究機関等との連携による実用化開発支援7事業を実施

- 中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業（H27～）
- 課題解決型福祉用具実用化開発支援事業（H5～）
- 新エネルギーベンチャー技術革新事業（H19～）
- 戦略的基盤技術高度化支援事業（プロジェクト委託型 H27～）
- 戦略的省エネルギー技術革新プログラム（H24～）
- ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト（H27～）
- IoT推進ラボ関連事業（H27～）

CYBERDYNE(株)
(株)グリーンペプタイド
ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)
・ Spiber(株)
・ マイクロ波化学(株)
・ (株)三次元メディア 等（印は上場）



5. マッチング支援事業の全体像

- 投資家、事業会社等を集めたNEDOピッチ(毎月)、イノベーションジャパン(JSTと共催)、イノベーションリーダーズサミット(共催)などの展示会によるマッチング機会の提供
- 事業カタライザーによる助言機会の提供
- 資金需要のあるNEDO事業者を、株式会社産業革新機構(INCJ)や日本政策金融公庫(JFC)へ推薦、出資や融資の実行につなげビジネス展開を後押し

【INCJへ23件推薦・3件の出資、日本政策金融公庫へ10件推薦・1件の融資が決定】



(参考) INCJ出資事例



事例1：株式会社ユニバーサルビュー
ピンホールコンタクトレンズの商品イメージ



事例2：株式会社三次元メディア
TVS3.0のビジョンヘッドの写真例

6. オープンイノベーション協議会

- ・オープンイノベーションに関する知見・ノウハウの共有を図るとともに、その取り組みを産業界に広めるための、マインド形成の場として協議会を設立（NEDOイノベーション推進部に事務局を設置）。



NEDOピッチ及び終了後の名刺交換の様子

活動内容（H27～28）

- JOICセミナー** 大規模なセミナーを、これまでに6回（うち2回は他のイベントと連携）実施。
- ワークショップ** 少人数でのワークショップを、これまでに6シリーズ（計13回）実施
- NEDOピッチ** ベンチャー企業によるショートプレゼン会を、これまでに13回実施、毎月第4火曜日開催
- オープンイノベーション白書の作成**
平成28年7月に初公開

- 設立:平成27年2月12日
- 会員数628（内訳:企業会員492、大学等の賛助会員136
（平成28年12月1日現在）

- （１）長期的視点に立った**大型予算**によるベンチャー支援体制の構築
- （２）STS支援事業を軸としつつTCP、SUI、SCA支援事業と**一体的な制度運用**の実現
- （３）TCP等の起業前人材を対象にしたピッチイベントへの**懸賞金制度**の導入
- （４）JST、中小機構、JETRO等政府関係機関との連携
（ワンストップサービス、シーズの共有、審査結果の共有等）
- （５）NEDO及び各公的機関による**出資機能**の付与と強化
（協調出資による民間VCリスクの軽減）

7. 研究開発型ベンチャー支援における課題と対策（2）

- （6）助成支援ベンチャーのキャッシュフロー負担の軽減のための**ストックオプション等による収益納付制度の導入**
- （7）政府調達を目指した制度の構築（**SBIR事業**への起業前アントレプレナーの参入拡大）
- （8）起業家数を増やす施策強化
 - 地方案件を含めた発掘（**ベンチャーキャラバン**による地方自治体を含めた関連機関との連携強化）
 - 大企業発シーズの発掘（**企業スピンオフベンチャー**に対する支援）
 - **アクセラレーターの一層の拡充**とネットワーク構築
 - **経営人材**の育成、マッチング

単位:億円

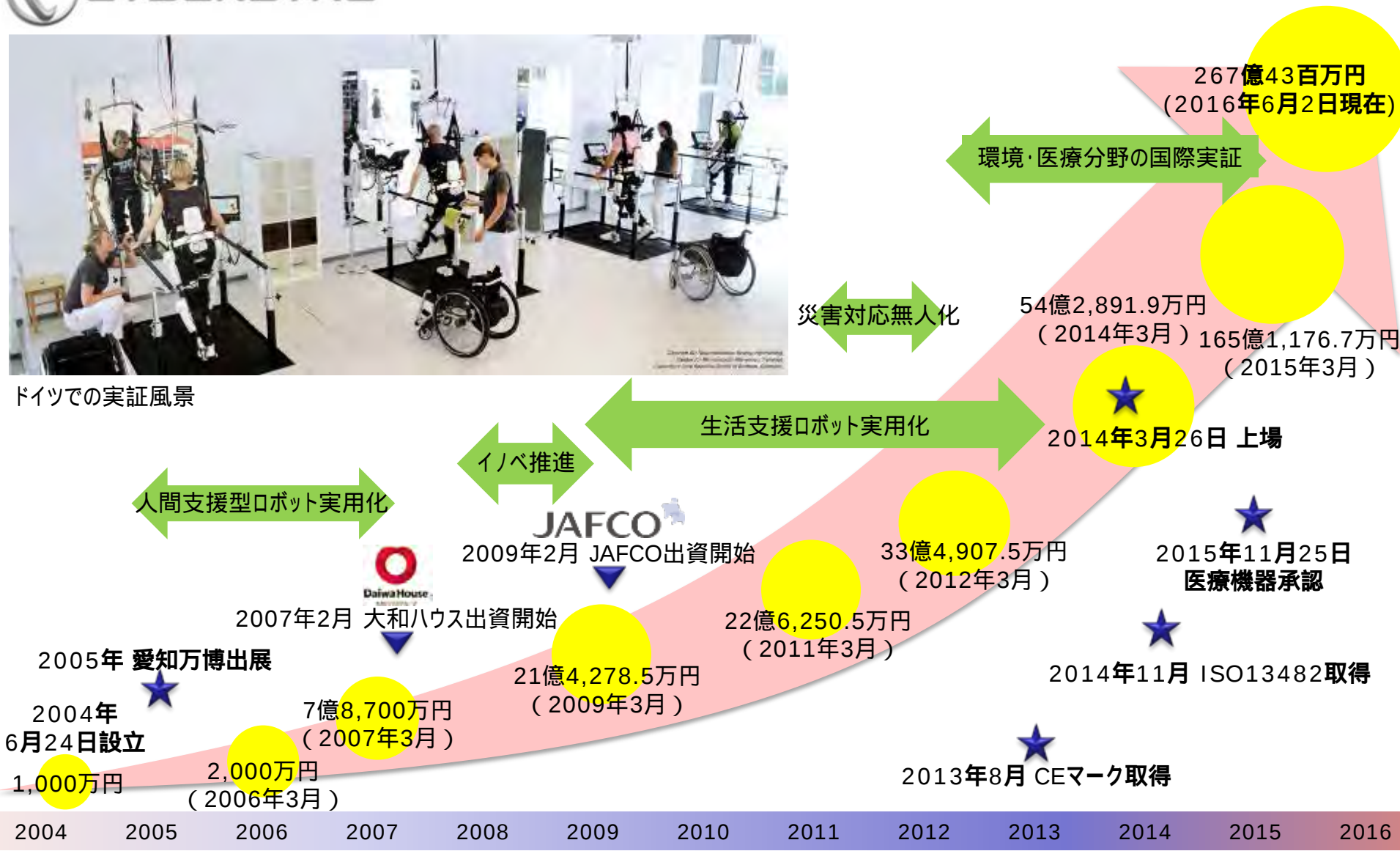
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
当初予算	5.8	—	—	P
補正予算	17.6	13.9	15.0	
合 計	23.4	13.9	15.0	P

(一般会計 NEDO運営費交付金)

参考2 CYBERDYNEの資本金の推移とNEDOの支援



ドイツでの実証風景





マイクロ波を用い、ものづくりプロセスに革新をもたらす

専門家派遣

専門家（行政書士や証券アナリスト等）を派遣し多岐に亘る経営助言

R&D支援

新エネルギーベンチャー

戦略的省エネ

サポイン

クリーンデバイス

低炭素ナノ

25イノベ

マッチング支援

新エネベンチャー
ビジネスマッチング
(2009年11月)

東京大学エッジキャピタルとのマッチング

イノベーション・ジャパン2010
(2010年9月)

設立

資本金
10万円



資本金
1,000万円
(資本準備金を含む)

資本金
1億
3,249.6万円
(資本準備金を含む)

新エネベンチャービジネス
マッチング(2013年2月)

資本金
20億
3,842万円
(資本準備金を含む)

資本金
29億
1,828万円
(資本準備金を含む)

2014年3月
大型マイクロ波化学品
製造工場完成
(生産能力3200t)

2015年
2号プラントを
大手企業と共同建設中

2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016

基盤研究

開発、スケールアップ

市場投入